

ばらネット・にしお

今できることを一歩ずつ! コロナ禍における今年の活動を振り返って

LGBT出張授業の様子



校内放送で講演を聴く 愛知県立一色高等学校 全日制の生徒



ばらネット会長 (校内放送室にて)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、初めて校内放送による出張授業を実施しました。授業後の生徒の感想からは「LGBT当事者の力になりたい」「気持ちが軽くなった(当事者の生徒)」など前向きな意見がたくさん寄せられました。(詳細は4ページ)

未だ終息の兆しが見えない状況ですが、コロナ禍においても、工夫を凝らし私たちにできることを一歩ずつ進めてまいります!

もくじ

- * コロナ禍でどう変わった? わたしたちの生活 P2、P3
- * 令和2年度男女共同参画推進事業活動報告 P4

「男女共同参画」

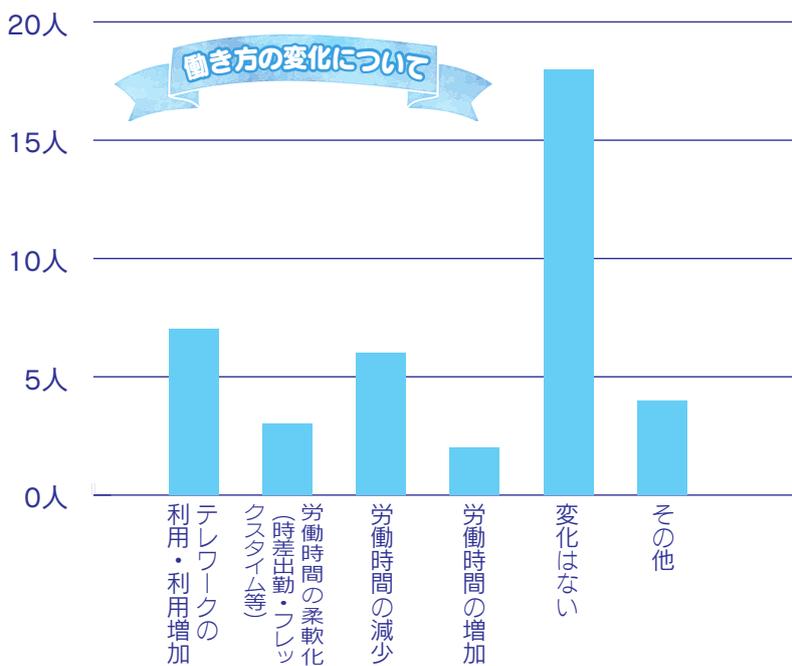
withコロナ時代を
生き抜く!

コロナ禍でどう変わった? わたしたちの生活

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行で多くの人が仕事や収入に大きな影響を受け、生活様式を変えざるを得ない状況となりました。人との交流が持ちづらく「つながりにくい」現状の中、ばらネットでは会員の皆さんと会員通信を通して「つながり」を持ちたいという思いから、コロナ禍における働き方や家庭での役割分担の変化や工夫していることについて令和2年10月にアンケート調査(回答者32名)を実施しました!※回答者…40~70代が多数

働き方

● あなた自身もしくは家族の働き方に
変化はありましたか。(複数回答可)



労働時間が増加した人よりも減少した人が約2割と少し多いよ。



約半数の人が働き方に「変化はない」みたい。



働き方が変化した人でテレワークを利用する機会が増えた人は約2割いるね!



オンラインの メリット・デメリット

● オンライン会議やオンライン打合せを経験した感想を教えてください。

メリット

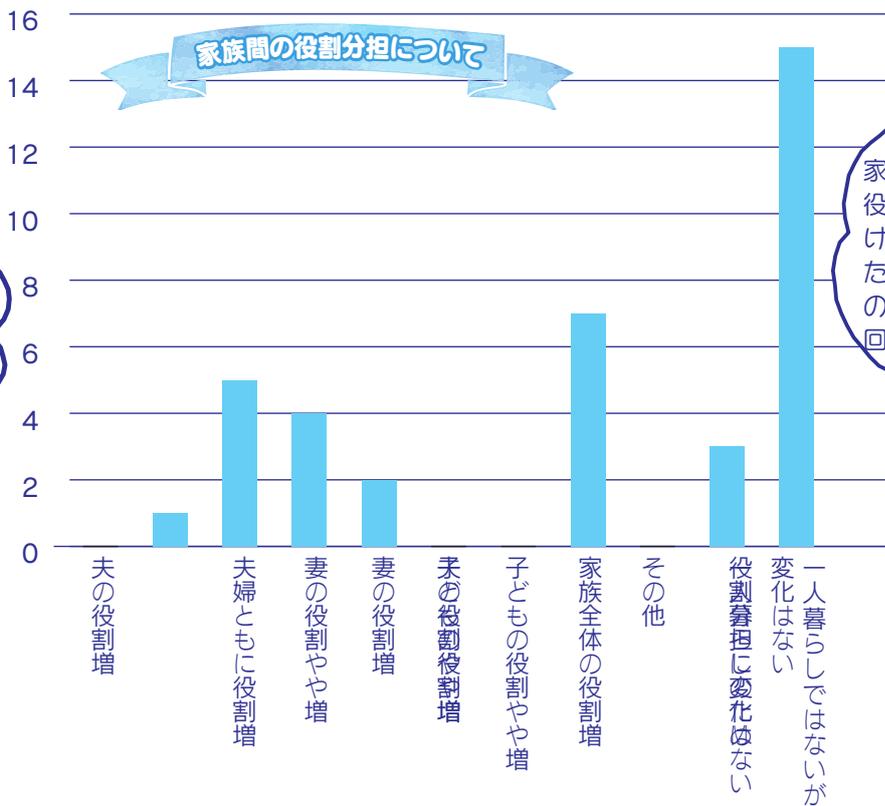
- 出かける必要がないため、時間が生まれる。
- 移動時間が省けたり場所を選ばず打合せができることは、とても便利で柔軟な対応と迅速さを感じた。

デメリット

- 直接対面がないのは淋しい。
- 意思疎通がとりにくい。相手の表情がよくわからないので結果として話が進まない。
- 熱量が伝わりにくかったり、説明が難しく感じることも…。
- 言葉の選び方に気を遣った。
- その場の空気感やコミュニケーションがとりにくく、一方通行になりやすい。

家族間の役割分担

- 家事や育児に関する家族間の役割分担に変化はありましたか。(複数回答可)



働き方同様、役割分担も約半数の人が変化はないと回答してるよ。

家族全体や夫婦ともに役割が増えた人もいるけど、夫の役割が増えたという回答よりも妻の役割が増えたという回答の方が多いね。

- 家族間の役割分担はどのように変化しましたか。工夫していることはありますか。

- 夫が食事のメニューを考えるようになった。メニューを考えることが負担にならないように子どもたちと一緒に楽しみながら考えるようにしている。
- 家庭で過ごす時間が増えたため、(夫が) 子どもと一緒に遊んだり、お風呂に入れたり、寝かしつけたりするようになった。
- 夫がリモートにて仕事をしているので、自宅にすることが基本となり、子どもたちが帰宅したら迎えてくれたり、晩ごはんを食べさせてくれる。
- 家族の会話が増した。
- 洗濯物の干し・取り入れ・風呂掃除・ゴミ出しは、夫の仕事となった。
- 一日に何回、何十回も、何かしてくれるたびに夫に“ありがとう”と言うようになりました。

みんなの意見を見ると、実際の場面では夫の役割も増えていそうだね。感染症対策で増えたケアの面で妻の役割が増えているのかな？

サンマ焼く
妻の背中を
テレワーク

外出も
帽子マスクで
あなた誰？

コロナ禍で
夫婦の会話
さらに増す

はらネット
個人会員
コロナ柳

令和2年度 男女共同参画推進事業活動報告

令和2年度の活動はコロナ禍の中、ばらネット15周年記念事業の中止や、今までのようなセミナーを開催することが難しくなりました。その中でも試行錯誤をし、新しい形態で活動をしました。

「日本女性会議2020あいち刈谷」応援企画

*令和2年11月13日(金) *西尾市役所会議室

*オンラインで開催された「日本女性会議2020あいち刈谷」の視聴及び意見交換会

基調講演「**コロナ禍とジェンダー**」 講師 上野千鶴子氏

「コロナ禍では平常時との矛盾が大きくなる。シングルマザーの窮状^{きゆうじょう}、子ども食堂への打撃、DV・虐待の増加など弱者にしわ寄せがきている。誰もが弱者になりうる。弱者を助けるために能力を使おう。」などの言葉が印象に残りました。

分科会C「**だまっとれん! コロナ禍でもDVを生み出さない社会へ**」

DV被害の生活からの離脱支援と、離脱後の生活を再構築するための支援を受けることで自己を肯定するといったプロセスについて具体的な話を聞くことができました。その後、参加者でコロナ禍を過ごす工夫について意見交換をしました。



「多様な性に関する取組」

*令和2年12月3日(木) *愛知県立一色高等学校

若年者啓発事業「**LGBT 出張授業**」

講師 NPO法人ASTA

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、校内放送を使ったラジオ形式で講演を行いました。セクシャリティについて考え、自分で自分を認めること、友達を大事に思うこと、そして、上から手をさしのべる支援ではなく、下から支えるサポーターでもなく、横に立ち、寄り添う「**ALLY**」^{アライ}になることを学びました。



ばらネット
会員を
募集します!



ばらネットは、女性の社会参画の推進、行政との協働、男女共同参画社会の実現を目的に、活動している市民グループです。各種団体の皆さん、個人での会員登録、男性会員も大歓迎です。私たちと一緒に活動してみませんか?

【編集・発行・問い合わせ先】

西尾市役所 市民部 地域つながり課 〒445-8501 西尾市寄住町下田22番地

TEL : 0563-65-2178 FAX : 0563-56-2175 E-mail: kyoudou@city.nishio.lg.jp

【編集協力者/市民活動グループばらネット】手島とし子、坂部三枝子、山崎裕子、太田信吾、榊原裕美、犬塚栄子、杉浦正浩



「ばらネット・にしお」
バックナンバーはこちら